

令和6年度 第3回浜北特別支援学校運営協議会 議事録

静岡県立浜北特別支援学校

1 日 時 令和6年11月13日（水）午前9時から11時まで

2 参加者

○学校運営協議会委員

- ・岩崎久和（元県立学校長）
- ・平松勇人（PTA会長）
- ・大城直明（中瀬4区自治会長）
- ・池田文彦（株式会社ソミックエンジニアリング 代表取締役社長）
- ・加藤祐司（社会福祉法人みどりの樹 管理者）
- ・平田浩二（浜松市浜名区 区振興課 課長補佐）
- ・大木茂（聖隷こども家庭総合支援センター長）

○教職員

校長、副校長、教頭、事務長、小学部主事、中学部主事、高等部主事、自立グループ主任、教務課長

3 次第

(1) 会長挨拶

- ・今回は働き方改革がテーマの1つ。働き方改革は学校の中だけでは解決できないこと。学校外からの視点も踏まえて。

(2) 校長挨拶

- ・前回は防災について御意見をいただいたが、今回は働き方改革。子どもたちと関わる時間の増加、職員の心身の健康の保証、魅力ある職場づくりなど。学校の常識が非常識、という側面があるので御意見をいただきたい。

(3) 協議

① 教職員の働き方改革・業務改善について

○副校長から教職員の働き方の現状と今後の改善について説明。

- ・ICT利用（校務の情報化）により、過去の資料を参考にしやすくなった。会社ではその中の組織ごとに担当がいる。業務が重ならないようにするのが効率的なやり方。（E委員）

- ・会議には「決定」「検討」「連絡」などの目的があるが、それぞれの進め方やそれぞれのメンバーがある。種類分けをし、出る人を絞る。(E委員)
- ・何かを終わらせないと新しいことはできない。何をやめられるのか、はっきりさせることが大切。(E委員)
- ・他の業種に視点から見たら変えられる点はある。(G委員)
- ・パソコンでは共有スペースを作る。グループで共有する。(F委員)
- ・限られた時間をどう使うのか、に尽きる。続けるのか、改善するのか、やめるのか、ということ。(E委員)
- ・ベテランと若者の温度差をどう解消するのか。(D委員)
- ・スクラップ&ビルド。1つ増やしたら1つ減らす。(C委員)
- ・学校全体の見直しをして、学部主事中心の運営ができるとよい。(C委員)
- ・スクラップや断捨離に尽きるのでは？試しにやめてみる必要も。(A委員)

② 学校への必要な支援について

- ・保護者から障害者の働いている姿を見たい、あるいは話を聞きたい、などの要望があれば、できることはやる。(E委員)
- ・進路先を決定する際に、教員が1つ1つ当たっているが、生活介護の情報を伝えることはできる。そういったことが業務改善につながらないか。(D委員)
- ・地域と連携してうまく利用できるものがあるとよい。(A委員)

(4) 校内見学

○各学部（小、中、高）の様子を見学。

(5) その他

○第4回学校運営協議会は2月17日（月）午前9時から。